

学校だより



頸城中HPにアクセス！

頸城

令和3年 2月15日 No. 10

上越市立頸城中学校

〒942-0164 頸城区潟口 60

TEL 530-2405 FAX 530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

わが良き友よ

昨年、高校時代の同級生が私を含め6人で集まり、旧交をあたためました。高校を卒業して41年になろうとしています、長く続くものです。みんな忙しいはずなのに連絡を取れば、なぜかいつも6人全員が、大体年1回集まっています。出身中学校や高校卒業後の進路、就いている職業も全く違う6人がなぜ、こんなに長くつきあうことができているのか不思議で仕方ありません。

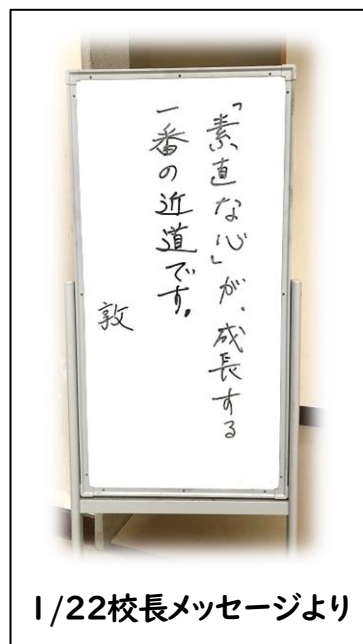
そもそもこの6人の出会いは高校2年生の時にさかのぼります。私の通っていた高校は2年生に進級するときだけ学級編制がありました。始業式の日、新しいクラスメートとの初めての出会い。他の5人と会話をした記憶はありません。翌日、バスケットボール部だった私は、練習を終えて帰ろうとすると、校門からバス停までの間、たまたま一緒になった陸上部だった6人の中の1人「T」と初めて話したのです。彼とは1年生のときは違うクラスでしたし、陸上部に所属していることも知りませんでした。初めての会話は私からだったと思います。「(陸上の競技で)何しているの」「やり投げ」こんなたわいもない短い会話だったと思います。それからは教室でも帰り道でも様々なことを話し、急速に仲が良くなっていったのです。

7月になると、1学期の期末テスト後、校内球技大会がありました。そのとき、私と「T」はバレーボールに出ることになりました。メンバーが揃い2年生の時に準優勝(3年生の時は優勝)しました。そのメンバーの中にいたのが「F」です。彼はチームのムードメーカーでよく冗談などを言って、私たちを笑わせてくれました。3人はそれから昼休み等はいつも一緒にいるようになったのです。

あるとき(高校2年生9月ころだったと記憶している)、私と「T」「F」の3人っていると「F」が「あの3人組、おもしろいんだわ」と言って、「ちょっと話してみっか」と私と「T」にもちかけてきました。そして、その3人組「I」「S」「Y」と初めて話したのです。今までほとんど話をしたことがなかったのに、あまりの面白さにすぐに意気投合しました。ついに6人組が結成されたのです。それから昼休みなどは常に6人組で行動し、時には語らい、時には野球をしたりして青春時代を謳歌(?)したのです。



どうしてこんなに長くつきあいが続いているのかと、昨年会ったとき話題に上りました。その中で出た結論(?)が、あまり近すぎないこと。つまり職業も違うし、住んでいるところも違うなど共通点が少ないこと。しかし、だれかが困っているときや何かがあったときはどこから情報を得てくるのか、必ずみんなで声をかけあうのです。一緒にいるとほっとでき、なくてはならない空気みたいな存在なのです。



1/22校長メッセージより

友人とのつきあい方は様々でしょうが、私たちみたいなつきあい方があっていいのかなと思っています。いつも近くにいてべったりしているのだけが、友達ではないと思います。

「何だかんだ言っても、みんな一生つきあっていくんだろうな」と全員が納得したところで、日付が替わったので帰路につきました。「我がよき友」に感謝。

「君は君 我は我なり されど仲良き」

第2回生徒総会

2月10日（水）、今年度の生徒会活動についての報告と承認を行うために第2回生徒総会を実施しました。

Respect yourself（自分らしさを大切に）～感謝される学校へ～の生徒会スローガンのもと展開した今年度の生徒会。新しい取組である「**全校球技大会**」では、自分の得意なこと、やるべきことに取り組むことで「自分らしさ」を発揮するとともに、仲間との絆を深めることができました。地域の方と協働した「**全校あやめ植栽活動**」では、地域の歴史を学ぶとともに地域連携実現しました。コロナ禍で中止になったり制限されたりした活動が多い1年でしたが、頸城中生徒会は停滞することなく確実に一歩前へ歩みを進めることができました。

生徒総会后、令和3年度の正副専門委員長の引継式が行われ、新しい新生徒会リーダーたちが紹介されました。先輩方からのバトンを受け継ぎ、さらに大きく前進してくれることを願っています。



令和3年度学校運営協議委員（CS 委員）を募集します



上越市では、平成24年度から地域とともに学校づくりを進めるコミュニティ・スクール（CS：学校運営協議会制度）を、市立の全小・中学校で実施しています。地域でどんな子どもを育てたいか話し合い、学校、家庭、地域が一緒になって学校づくりや子どもの育成を進めることが目的です。

来年度の学校運営協議委員の募集が、2月1日（月）から26日（金）まで行われます。**定員は2名以内で、頸城中学校区内に在住の方なら、どんな人でも応募が可能です。**応募の際には、応募用紙に必要事項を記入いただく他、「私ができる地域とともにある学校づくり」をテーマにした小論文（400字程度）を市に提出いただくことになります。

「募集案内」と「応募用紙」を中学校玄関に設置しますので、ご自由にお持ちください（中学校のホームページからダウンロードすることもできます）。地域と学校が一体となって子どもたちを育成していく素晴らしい取組です。是非、皆様のお力添えをお願いいたします。

頸城中生徒の活躍 ～これからも応援をお願いします～

◆人権作文コンテスト 上越協議会優秀賞 山田 水晶 さん（3年）

子ども達を守り、正しい方向へ導くため大人にできること

12月に実施した後期学校評価アンケートの結果をお示します(次ページ以降)。授業への取組等で向上がみられる反面、「家庭学習時間の確保」や「夜10時30分のメディアシャットダウン」について、7月から大きく下落する結果となりました。SNS等を介した人間関係の広がり、以前決めたメディアルールの形骸化、様々な要因が考えられますが実際の理由はよくわかりません。しかし、はっきりしていることがあります。それは、この状況を放置することは危険だということです。

昨年度、当校において、いじめやSNS利用のトラブルといった看過できない心配な出来事が発生しました。そこで令和元年9月25日(水)に臨時保護者会を開催し、「**いじめをなくすために保護者にできること**」「**子ども達がメディア機器を正しく使うために保護者にできること**」について意見交換を行いました。ある学級では、話し合いをきっかけに**保護者間で「LINEは22時まで」という学級ルールを制定した**と聞き、大人の本気を実感しました。この時、保護者の皆さんから出た意見を下に記します。**子ども達だけの力では解決が困難な問題**です。子ども達を守るため、今一度ご家庭の取組について確認いただければ幸いです。

①いじめをなくすために保護者にできること

- ・学級で起こった出来事を毎日聞くなど、普段からのコミュニケーションが大切。
- ・子どもの話は真剣に聞く。
- ・子どもが困った時に自分から親に言い出せる雰囲気作りが大切。
- ・親が子のスマホ(携帯)をチェックする。
- ・スマホ(携帯)からいじめが始まることが多いので、スマホは使用させない。
- ・暴力は絶対にダメだと繰り返し伝える。
- ・子どもの日常をしっかり見とる。
- ・普段と様子が違うと感じたら、子どもに声を掛ける。
- ・保護者同士のつながり、情報交換。
- ・子どもから「情報を聞いて終わり」にしない。何かあったら自分の子どものことでなくても学校に知らせる。
- ・言葉に気を付けるよう常に子どもに話す。
- ・物事の良し悪しをその都度伝えていく。
- ・いじめは「犯罪」であることを伝える。
- ・いじめがなぜダメか家族で話し合う。
- ・相手の立場で行動できるよう日々話をする(自分がされたら嫌なことを確認)。
- ・親が現実の生活を大切にさせる。(楽しいことを親子で探し、一緒にやる)
- ・親が子どもの前で他人の悪口を言わない。
- ・いじめが起きた、その先のことを話して、想像させる。(された人以外にも大勢の人が悲しい思いをするという事実)

②子ども達がメディア機器を正しく使うために保護者にできること

- ・スマホ等の通信機器を買い与えない。
- ・LINE等のグループには入らせない。
- ・メディア利用のルールを決める。
 - ※21時以降は使用を禁止。
 - ※夜間は機器を親が預かる。
 - ※ルールを守れない場合は、一定期間取り上げる(反抗しても強制的に。最後は親が砦となる)。
 - ※機器の利用はリビングで。(自分の部屋にはもって行かせない)
- ・子どもがメディアを使って何をしているのか、会話を通して親が知っておく。
- ・スマホ等は親が利用内容を確認できる状態にしておく。(パスワードは親が管理)
- ・iPhoneの場合、「スクリーンタイム」機能を必ずチェック(利用)する。
- ・オンラインゲームは、親の目の届くところでさせ、時には親も会話に参加する。
- ・端末の管理を親が責任をもって行う。
- ・フィルタリング機能や時間ロック機能等を必ず使用する。(制限がかけられないものは持たせない。)
- ・親もメディアのことを勉強(理解)する。
- ・やってはいけない事(個人情報や流さない等)を、その都度話題にし確認する。
- ・本当に必要な時にしか利用させない。
- ・子どもだけにメディアルールを守らせようとしてもだめ。大人も同じルールで。

後期学校評価の結果から（数字は肯定的回答の割合です）

R2後期 学校評価 生徒アンケート集計結果			全校生徒		1 年生		2 年生		3 年生	
			R2後期	R2前期	R2後期	R2前期	R2後期	R2前期	R2後期	R2前期
1	学力づくり	休み時間のうちに授業準備を行い、チャイムスタートを守っている。	99.1	99.1	96.9	98.5	100.0	100.0	100.0	98.7
2		授業中は、私語なく、しっかり話を聴いている。	92.6	95.4	81.3	90.9	95.9	97.3	98.7	97.4
3		授業に忘れ物をしていない。	96.7	91.2	90.6	78.8	98.6	97.3	100.0	96.1
4		授業での挨拶や返事を元気にしている。	91.1	92.2	79.4	90.9	95.9	95.9	96.1	89.6
5		提出物を期限までに提出している。	91.6	90.3	89.1	81.5	90.5	91.9	94.8	96.1
6		授業のねらいや学習内容がよくわかる。	95.3	90.3	95.3	90.9	95.9	87.8	94.8	92.2
7		授業では、自分の考えをもち、進んで表現（話すや書く）している。	88.8	85.6	76.6	83.1	93.2	82.4	94.8	90.9
8		授業後の振り返りをきちんと書いている。	93.9	93.5	90.5	92.3	91.9	91.9	98.7	96.1
9		授業の活動を通して、自分の考えを深めている。	90.2	92.6	81.3	92.4	93.2	89.2	94.8	96.1
10		テストに向けて計画的に学習に取り組むことができた。	84.1	85.6	69.8	76.9	83.8	86.5	96.1	92.2
11		1日あたりのめやす時間（1年生70分、2年生80分、3年生90分）の家庭学習を行っている。	62.3	72.8	46.9	81.8	51.4	67.6	85.7	70.1
12	絆づくり	法律や学校のルールを守って生活している。	99.5	99.5	100.0	100.0	100.0	98.6	98.7	100.0
13		いじめをしない、許さない集団づくりに努力している。	98.6	99.5	96.9	98.5	100.0	100.0	98.7	100.0
14		係や当番の仕事をしっかり行い、仲間の役に立っている。	97.2	97.7	93.8	97.0	98.6	97.3	98.7	98.7
15		周囲の人の意見に流されず、自分の考えで行動している。	95.8	95.9	90.6	93.9	97.3	94.6	98.7	98.7
16		地域行事やクリーン活動に積極的に参加し、地域に貢献している。	78.0	81.5	63.5	80.0	78.4	79.7	89.6	84.4
17		地域や校内でさわやかなあいさつを進んで行っている。	88.8	88.0	78.1	84.8	93.2	86.5	93.5	92.2
18		今の自分の学校生活は充実している。	99.1	96.3	98.4	96.9	98.6	95.9	100.0	96.1
19	体づくり	夜10時30分には、すべてのメディアをシャットダウンしている。	55.8	64.5	51.6	66.7	55.4	59.5	59.7	67.5
20		夜11時までには就寝している。	61.4	69.6	57.8	72.7	63.5	67.6	62.3	68.8
21		「生活チャレンジ週間」で作成した生活リズムで生活することができる。	61.9	71.0	46.9	66.7	70.3	73.0	66.2	72.7

R2後期 学校評価 保護者アンケート集計結果			全校保護者		1 年生		2 年生		3 年生	
			R2後期	R2前期	R2後期	R2前期	R2後期	R2前期	R2後期	R2前期
1	学力づくり	決まった時間に家庭学習ができるよう、学習の環境を整えている。	74.5	73.2	75.4	74.2	69.3	73.3	78.9	72.2
2		テスト前や長期休業中は学習計画表を点検し、テスト結果を親子で振り返っている。	60.6	60.9	56.9	63.6	65.3	65.3	59.2	54.4
3		進路について親子で話し合い、学習に目標をもたせるようにしている。	82.8	79.0	68.8	63.6	80.0	76.0	97.4	94.9
4	絆づくり	法律や学校のルール、家庭のルールを確認し、家庭でも守らせている。	95.8	95.5	95.4	100.0	95.9	92.0	96.1	94.9
5		いじめや暴力について親子で話題にし、いじめを許さない意識を高めている。	95.8	96.8	92.3	97.0	96.0	96.0	98.7	97.5
6		提出期限に間に合うよう、宿題やプリント類を提出させている。	81.9	87.7	84.6	89.4	77.3	85.3	84.2	88.6
7		学校行事やPTA活動に積極的に参加している。	88.4	89.1	87.7	90.9	86.7	88.0	90.8	88.6
8		地域行事やクリーン活動への参加を促している。	80.9	83.2	89.1	89.4	73.3	80.0	81.6	81.0
9	体づくり	大人から積極的にあいさつや声掛けをしている。	98.1	97.7	98.5	96.9	97.3	97.3	98.7	98.7
10		親子で話し合ってメディア使用のルールを決め、それを守らせている。	60.2	68.5	61.5	77.3	61.3	64.0	57.9	65.4
11		「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣付けている。	83.8	82.7	73.8	78.8	84.0	85.3	92.1	83.5
12		22時30分にはすべてのメディアのシャットダウンに家族全体で取り組んでいる。	55.3	61.6	51.6	74.2	60.0	53.3	53.9	59.0

※青色部は前回比5%以上の上昇、赤色部は前回比5%以上の下落を示します。

保護者の皆様からアンケートでいただいた文章記述（全12件）

- ◆ 宿題、プリント、ディリーノートを見せるように促しても、まったく自分から出してくることがなく、学校からの連絡事項や行事など、後から知ることがよくあります。
- ◆ 学習環境は整っているはずだが、本人にやる気と危機感がなく、まったく勉強している様子がなく困っています。
- ◆ だいたいイエの回答については、取り組んでいるのですが、中々守れずにいます。

学校から 日々、子ども達の実態に向き合い、粘り強くご指導くださり本当にありがとうございます。「朝、子どもが文書を持ってきたと思ったら今日が締切だった…」という経験は、私たち教職員の家庭にもあります。毎回言っても忘れてしまう、アドバイスをしても危機感を持たない（実際はもっているのですが、行動にうつせない）、といった状況に閉塞感を感じる毎日でした。ところで、子どもの成長には個人差があります。学校と家庭が、子どもを信じ、子どもが自立するまでねばり強くかわり続けていくしかありません。なお、文書や学習課題の提出状況、あるいは家庭学習の取組等で、ご心配な点がありましたら、いつでも学級担任までご相談ください。

- ◆ コロナ禍の中で、学校行事等の開催に先生方役員の方には大変感謝しております。1年生では、初めての8教科とコロナ禍で範囲が広いなかでの2学期の定期テスト、前もって学習計画を立て、修正しながらテストに臨みましたが、終わってみれば、難しかったテストで終わってしまっている感じがします。普段の授業での学習をメリハリの付いた勉強をしてほしいと思います。例) 今日やった学習の復習をワークなどでするとか大切なところは何度もノートに練習するとかしてほしいのですがでも子供たちには、全部大事に見えてくるので、そのあたりの指導を先生方にしてほしい。

学校から 授業前後のミニテスト、ワークを活用した学習の整理等、基礎的な学力の定着を目指した取組に多くの授業で取り組んでいますが、至らぬ点があったことをお許しください。今後も、全教科の授業で「分かる授業」「できる授業」を目指した授業改善に取り組んでまいります。授業では限られた時間しか復習や練習に時間をさくことができません。そこで当校では、学年ごとに目標学習時間を決めて自主学習に取り組んでいます。単元の学習後にワークを自主的に進める、受験教材を計画的に進める、英単語や漢字を繰り返しノートに練習する、今日の授業で書いたノートを自主学習ノートにもう一度整理してみる、等です。学校でも毎日学習状況を点検しますが、是非ご家庭においても定期的な点検と評価をいただけると嬉しいです。その日にやることをその日に確実にやり遂げる習慣を身に付けてほしいと思っています。

- ◆ 学習参観等、親の関わる行事は前の月初めまでに連絡をもらいたいです。

学校から 行事の連絡を早めにお伝えできずご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。申し訳ございませんでした。授業参観や各種行事、部活動の予定等について、学校では1か月前までには各家庭に文書でお届けするようにしています（PTA 関係の催しは、年間の予定としてPTA 総会資料に記載しています）。そのため、例えば20日に計画している行事の案内が、前月の中頃となるケースも出てまいります。何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

- ◆ 教科によって理解度に応じた少人数クラスがあっても良いと思います。

学校から 「個に応じた学習内容の定着」を図ることは本校の重点課題です（グランドデザイン『令和2年度頸城中学校の教育』参照）。そこで、生徒一人一人の困り感に対し、適切な指導・必要な支援を全生徒対象に行っています。今年度は、生徒並びに保護者の要望を受け、4教科（国・数・英・社）において個別授業を実施しています。まさに理解度に応じた究極の少人数指導です。ご相談はいつでも受け付けております。お気軽にご相談ください。（詳細については、1学期末の面談時に配布の『頸城中学校の「特別支援教育」について』をご参照ください）

- ◆ 学習については本人に今のままでは高校受検は難しいと話をし、勉強の仕方を確認したり、一緒に考えたりしますが、本人の意識が低くうまくいきません。テスト結果について先生より本人にしっかり話をしてほしいと思います。

学校から 学習方法や進路について、お子様と話し合う時間をとってくださっていることに感謝申し上げます。当校では「マイ・ポートフォリオ」「教育相談」「毎日の生活記録ノート（ディリーライフ）」等を活用して生徒一人一人の学習状況や課題を把握し、賞賛・助言することを大切にしています。同時に、生徒に将来の自分を想起させ「いま学ぶことの意義」を実感させる「キャリア教育」を大切にしています（キャリア・パスポートの取組もそのひとつです）。今後も「今の学びが、将来の自分を創っている」ことを生徒に語り続け、学びに主体的に向かう力を育んでいきます。すべてのご家庭で中学校卒業後の進路や将来の生き方についてじっくりとお子様と話をしてもらいたいと思っています。

◆ 校舎内がきれいに清掃されていて、気持ち良いです。日頃のご指導ありがとうございます。

学校から 校舎をきれいに清掃しているのは、まぎれもなく頸城中の生徒たちです。当校の生徒は、清掃や当番活動に一生懸命取り組みます（個人差はあります）。生徒の頑張りを保護者や地域の皆様から褒めていただけることは、生徒にとって最高の励みになります。ありがとうございます。

◆ 自転車通学の時期に、中学生がスマホを片手に音楽をかけながら帰宅しているのを見ました。並列走行もよく見かけます。歩いている人が困るような運転の仕方は少し残念でした。抜き打ち検査（荷物チェック）を実施すべきかと考えます。

学校から 自転車の交通ルールやマナーを守れず、地域の皆様、付近を通行する方、正しい自転車の乗り方をしている小中学生に対して大変なご迷惑をお掛けしてしまったこと、申し訳ございませんでした。「抜き打ち検査を」とのご意見ですが、学校は個人の持ち物を本人や保護者の許可なく点検することができません。今後も、なぜ不要物を学校に持ち込むことがいけないか、なぜ自転車のルールを守ることが大切か、事あるごとに繰り返し生徒に話をしていきます。是非この機会に、不要物を学校に持って行っていないか、自転車と並列走行をしていないか、お家で話題にいただけると幸いです。なお、交通ルールを守することは命の問題となります。並列走行等、ルールが守れていない生徒を見かけられた際は、遠慮なく怒鳴りつけてください。子どもの安心・安全を学校と家庭と地域全体で守るため、是非ともご協力をお願いいたします。

◆ メディアシャットダウン 22 時 30 分以降に、周囲の友達から誘いが来るので、全体で周知できるといいです。

学校から メディアシャットダウン 22 時 30 分の取組は、生徒の望ましい生活リズムづくりを目指して今年度からスタートしました。年 3 回の「生活コントロールチャレンジ週間（コンチャレ）」の実施や、区内各学校からの便利『すこやかくびきっ子』の年 4 回の発行等をとおして、区民の皆様にも周知を計っていますが、まだ不十分な点があったかもしれません。今後も引き続き、取組の周知を行っていきます。学校評価のアンケート結果から、生徒のメディア利用状況が大きく悪化していることが分かります。コンチャレ週間中は多くの生徒が目標時間を達成できており、「やればできる」ことは明らかです。コンチャレの取組が、健康な体づくり＆生活習慣づくりのための「当たり前の習慣」となるよう、それが 5 日間だけでなく毎日の取組となるよう、引き続き家族ぐるみでのご協力をお願いします。家庭でのスマホやゲーム機の使い方については、お子様と約束事を決めて使わせるようにしてほしいと思っています。

◆ 法律や規則を遵守するよう説いていくことを前提とした話しになりますが、親が子供の宿題や提出物を全て把握し言った通りにさせる、子供は親の言った通りに行くという親子関係が中学生段階であるとしたら、それはそれで別の課題があるように思います。

学校から 子どもは一人の人間として尊重されるべき存在です。子どもなりに自分で考え、判断し、行動する権利をもちます。大人の都合のみで子どもの考え方や行動をコントロールすることは不適切であり、これは保育園児や小学生に対しても同じです。ご意見のとおり、何もかも親が「言った通りに」といった親子関係は良好な状態とは思えません。一方で、子どもが抱える課題はそれぞれに違います。言わなくてもできる子がいれば、言ってもできない子もいます。目の前の子どもにとって必要なことであれば、たとえ子どもが中学生や高校生の段階であったとしても、強制力が伴ったとしても、適切な方向を指し示すことは私たち大人の大切な役割であり責任だと考えます。将来、子どもが自立したときに困らないよう、つかず離れず、子ども達を見守り教え導ける存在となれるよう、学校・家庭・地域が共に手を携えていければと思います。

◆ 毎年の冬のバス通学時のバスの待ち方の改善。

学校から まず、今年度は大雪の影響でバスが遅延することが多く、生徒やご家族の皆さんに心配とご迷惑をお掛けすることが多く、大変申し訳ございません。当校では、冬季間 89% の生徒がバス通学となります。バスの 1 台あたりの乗車人数も多く、登校時のバス停では多い場所で 14 名が待機します。下校時はもっと多く、学校横のバス停に 2 台のバスを待つため 65 名が待機しています。雪で道路幅が狭くなったり、バス停の待合スペースが埋もれたりして、生徒の安全・安心な登下校が確保しにくい状況が度々発生し、対応に苦慮しているところです。「歩道がない場合、車道は必ず 1 列で歩くこと」、「待合スペースがない場合、1 列で待機すること」を繰り返し指導しています。下校時は、学校職員がバス停に出て安全指導を行っています。登校時は各バス停の安全指導を行うとこに限界があります。ご家庭や地域の皆様から、可能な範囲での生徒の見守り活動をお願いできると助かります。何卒よろしくお願い申し上げます。